

「クラシノコアゲ応援団」福島県中央街頭行動第11弾

春闘山場、勝利を目指し最後まで取り組もう！

～賃金格差の解消、労働条件の改善に向け一丸となろう～



街頭で訴える加藤光一連合福島事務局長

冒頭、連合福島・加藤事務局長がマイクを握り、「今次春闘もいよいよ本格的な交渉を迎え、大手は3月中旬、中小地場は3月末～4月の山場を迎えようとしている。今次春闘は、月例賃金の引き上げに拘り総合的な労働条件改善の取り組みとなる。賃金引き上げに関しては、労働組合としては定期昇給相当の確保はもとよりベースアップ（賃金改善）を求めるが、経営側のスタンスは年収ベースでの引き上げという概念であり、双方の隔たりは否めない。生活の向上と働きがいの視点に立って、闘っていく。人材不足の観点においても賃金引き上げの取り組みは重要であり、特に初任給の引き上げも人材確保の上で重要となる。さらに、大手と中小企業、中央と地方、男女間の格差問題についても是正をしていかなければならない。その意味での企業内最低賃金協定の引き上げも必要不可欠である。また、働き方改革による長時間労働上限枠100時間の問題、非正規職員転換

ルール導入などについても労使間で議論していかなければならない。いずれにしても今次春闘は、日本経済や世界経済においても先行き不透明の強い状況にあることから、厳しい状況が予想されるが、春闘の成果が未組織や非正規で働く方々、すべての働く者へ波及することをめざしていく。以上春闘を通じた連合福島のクラシノソコアゲ応援団活動へのご理解・ご協力をお願いしたい。最後に、これから各地区で首長選が行われるが、我々の政策・

制度を実現させる為にも同じ志を持つ多くの首長を誕生させ、復興・創生に向かっての相互関係を築いていきたい。是非、多くの皆さんと一丸となって取り組んでいくことをお誓い申し上げたい。」と述べた。



街頭で訴える佐久間通県労協事務局長

その後、社民党福島県連福島総支部の澤井和宏代表（福島市議会議員）から連帯の挨拶を頂いた。さらに、県労福協の佐久間 通事務局長からは、給付型奨学金制度の拡充と導入への課題について問題提起など、街頭の市民に向けて声を発した。また、往来の歩行者の方へは、労働相談ダイヤルや給付型奨学金制度導入に関する啓発チラシ、ティッシュを配布した。



市民にチラシ・ティッシュ配布し訴える



桃太郎旗で「クラシノソコアゲ」を訴える